

あたたかい子  
かしこい子  
たくましい子

学校だより

# つよし

—第25号—

令和4年10月11日  
平戸市立津吉小学校  
文責 校長 田川定司

## 人が習慣をつくり、習慣が人をつくる

校庭では、金木犀の甘い香りが漂い、コスモスが可憐な花びらを広げています。吹く風も涼しくすっかり秋の景色となりました。さて日常生活を振り返ってみると「毎朝、起きたら体温を測る」「家に帰ったら玄関で消毒する」「マスクをして外に出かける」ことが当たり前となりました。新型コロナウイルス感染症対策の新しい生活様式を実践していく中で、上記のことが「習慣」となって身に付いたのです。

このように意識しなくても日常生活の中で行うことを「習慣」といいます。「習慣」は、生まれながらにできていたことではありません。どんな小さなことでも親が子供に教え、時には一緒に行動して長い年月をかけて身に付けてきたことです。

ジョン・ドライデンというイギリスの詩人は「はじめは人が習慣をつくり、それから習慣が人をつくる」と言いました。メジャーリーグで活躍したイチロー選手は「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道だ」と語っています。

習慣は行動だけではなく、「考え方」にも習慣があります。失敗をした時に「自分の過ちを認め反省する」のか「言い訳や人のせいにする」のか。人と接したときに「良いところを見つけようとする」のか「悪い面を探そうとする」のか。壁にぶつかった時に「もうだめだ」と考えるのか、「何か方法はある」と考えるのか。過ぎたことをいつまでも「振り返る」のかそれとも「前を向く」のか。良い習慣が身に付けば、時間が経ち、場面が変わっても同じように考えていくことができます。

このように小さな習慣には、大きく人間を変えていく、能力を伸ばしていく力が秘められています。習慣として身に付けるのは、子供の頃の方が圧倒的に早いと言われます。津吉小の子供たちには、ぜひ良い習慣を身に付けて大きく成長してほしいと思います。

## 本の読み聞かせをしました！

9月20日は上級生が下級生に、27日は低学年が高学年に、読み聞かせを行いました。互いに相手が喜びそうな本を選書し、緊張しながらも優しい語り口で読んでいく姿が頼もしく見えました。「読書の秋」の取組を通して、読書の「習慣」化が図られることを期待しています。



## 小陸競 選手を励ます会

10月7日（金）の「南部地区小学校陸上競技大会」を前に、3日（月）、下級生が「選手を励ます会」を開催してくれました。励ます会では、出場する5・6年生が、出場種目ごとに選手紹介を行い、代表選手が決意表明しました。最後に4年生が中心となって、下級生から激励の言葉と応援が送られました。その声援を受けて、本番での活躍が見られました。